

令和4年度
小学校教育課程編成の手引
【各教科等編】

生活科における
1人1台端末を活用した
「個別最適な学びと協働的な学び」

北海道教育委員会

生活科における 1人1台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」 (小学校)

1 単元の概要

学 年：第2学年

単 元 名：「春だ 今日から 2年生」6時間扱い

単元の目標：春の自然を見付ける活動を通して、春とその他の季節との違いや特徴を見付け、春の自然の様子や冬から春への変化、季節によって生活の様子が変わることに気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとするようにする。

2 事例におけるICT活用のポイント

- ・見つけた春の自然をICT端末で撮影し、保存・蓄積することにより、気付いたことや感じたことを記録カードに書く際に、静止画や動画などの情報を繰り返し振り返って学習を深めることができます。
- ・静止画や動画などを大型モニタなどに映して一人一人の気づきを伝え合うことにより、気づきを自覚したり、関連付けたりすることができます。

3 使用したソフトや機能

- ・写真・動画撮影

【参考資料】

- ・GIGAスクール構想のもとでの生活科の指導について (文部科学省)



- ・StuDX Style
各教科等における1人1台端末の活用
各教科等での活用〔小学校 生活・事例〕
(文部科学省)



生活科における1人1台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」 (小学校)

4 1人1台端末の活用例

【ICTの活用場面①】



〔見つけた春の自然をICT端末で撮影する〕

- ・春の動植物を観察したり、春を感じられるものを探したりする場面において、児童一人一人が見つけたものをICT端末で撮影します。
- ・その際、低学年児童の特性や生活科の特質を踏まえ、児童一人一人が視覚、聴覚、嗅覚などの諸感覚を使って繰り返し自然と触れ合い、自分なりの思いや願いをもってじっくり観察に没頭してからICT端末で撮影するようにします。

【ICTの活用場面②】



〔動画や静止画などを見せながら、気づきを伝え合う〕

- ・児童一人一人が伝えたい事柄に応じて取捨選択した静止画や動画などを見せながら、自然の様子や四季の様子、季節によって生活の様子が変わることなどの気づきを伝え合います。
- ・静止画や動画などを見せながら気づきを伝え合うことで、一人一人の気づきが共有され、もっと春の自然を見付けたいという意欲を高めることができます。

生活科における1人1台端末を効果的に活用した授業改善のポイント

①学習対象への興味や関心の喚起や、記録した情報をもとにした伝え合いを充実させるための活用

- ・個々の思いや願いに応じて、学習対象を視覚的で分かりやすく提示することが可能
- ・様々な場所を調べたり利用したりする過程で、そこで出会う「人・もの・こと」について多様な情報を記録し、その後の伝え合いに生かすことが可能

〔活用例〕

- ・児童がICT端末で撮影した画像などを伝えたい事柄に応じて取捨選択し、町探検後の報告会で大型モニタなどに映して伝え合うことにより、一人一人の発見が共有され、町のイメージを広げたり、新たな探検への意欲を高めたりすることができます。

②活動後に自らの取組を客観的に振り返り、活動のよさに気付くための活用

- ・活動や体験に没頭してきた児童が、その後の振り返り活動において自分たちの行為を客観的に振り返ることが可能

〔活用例〕

- ・児童が自らの取組を振り返る際に、教師が活動時に撮影した動画を繰り返し確認し、自分の姿を客観的に振り返ることにより、活動や体験に没頭しているときには実感しにくい活動のよさに気付くことができます。

【参考資料】

- ・生活科・総合的な学習（探究）の時間の指導におけるICTの活用について（文部科学省）



【スライド資料】



【解説動画】